

2016年
12月5日
開催分

大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区

まちづくりワークショップ通信 VOL.3

制作・発行 大淀町役場 総務部企画政策課

第3回大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区 まちづくりワークショップを開催いたしました!

平成28年12月5日(月)に第3回大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区まちづくりワークショップを大淀町役場にて開催いたしました。22名の町民と近畿大学都市計画研究室の学生13名に参加いただきました。

はじめに、岡下町長から開会の挨拶を行い、事務局から第3回ワークショップの流れ、奈良県との包括協定及びこれまでのワークショップを踏まえたまちづくりの方向性について説明を行いました。次に、参加者たちの提案の足がかりとなるよう、近畿大学 脇田教授よりまちづくりの事例紹介を行っていただきました。その後、事務局より具体的なワークショップの進め方の説明を行いました。

参加者を6グループに分け、グループ討議を行いました。グループ討議では、まず提案カードに施設の活用方法等を記載し、合わせて付箋に活用する主体を記載しました。そして、作成した提案カードと付箋を同時に出しながら意見交換を行い、具体性を高める協議をしていただきました。グループ討議の最後にはこれまでと同様に各グループの代表者が協議内容を発表し、それぞれの意見を参加者全体で共有しました。

最後に、参加者を代表して、下淵連合区長の下西さんにワークショップを終えてのご感想を頂き、岡下町長からワークショップの総評と閉会の挨拶を行った後、第3回大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区まちづくりワークショップの閉会となりました。

- 日 時 2016年12月5日(月)
18時00分～20時30分
- 参加者 町民22名+学生13名
大淀町役場職員
株式会社 長大
- 場 所 大淀町役場
3階301会議室



当日の流れ・プログラム

<p>1 開会</p>  <p>岡下町長の挨拶、事務局から本日の流れの説明を行いました。</p>	<p>2 事例紹介</p>  <p>近畿大学 脇田教授から事例紹介、事務局から第3回ワークショップの具体的な進め方について説明が行われました。</p>	<p>3 提案カード作成</p>  <p>前回までの意見をもとに、提案カードを作成し、様々な活用・活動について意見を出し合いました。</p>
<p>4 具体的な提案の協議</p>  <p>提案カードをもとに、自分たちで行う活用・活動に対して全体で提案し具体的な案を協議しました。</p>	<p>5 発表</p>  <p>各グループで出された提案について代表者が発表することで全体に共有しました。</p>	<p>6 閉会</p>  <p>参加者を代表して下西さんにご意見を頂き、岡下町長より総評を行い、第3回ワークショップは閉会となりました。</p>

第3回ワークショップで出された主な提案

大淀病院跡地周辺の活用

【活用方法】 保健センター、診療所、介護施設、スパ、マッサージ、エステ、ケアセンターを連携させ、高齢者や都市部のリタイア世代が余生を過ごし、特技や趣味を活かし充実した人生を送れるエリア

【主体】 ワークショップ参加者の知人に協力してくれる方がいるとのこと (A班)

【活用方法】 高齢者サロン、認知症サロン

【主体】 地域、有志の方、認知症サポーター、認知症キャラバンメイト (B班)

【活用方法】 休日診療所

【主体】 郡医師会に協力を仰ぐ (B班)

【活用方法】 地元の食材を使った料理教室

【主体】 地域で調理師免許を持っている方、地元生産者 (E班)

【活用方法】 毎日の生活用品を販売するスペース

【主体】 商店会、NPO、商工会、スーパー (F班)

近鉄下市口駅周辺の活用

【活用方法】 イルミネーション

【主体】 各区の協力、商工会、学生がデザイン (A,C班)

【活用方法】 地場農産物の販売等、フリーマーケット

【主体】 公募、希望者 (A班)

【活用方法】 駅前という立地を活かして2,000人規模でイベントができるスペース

【主体】 商工会 (B班)

【活用方法】 町の文化・歴史等の案内、町の産業・観光

【主体】 町の文化クラブ、小中高校のクラブ活動 (B班)

【活用方法】 駅から大淀病院跡地までの道路沿いの建物を揃え、新しいまち並みや店舗をつくる事によって地域の活性化、商売の活性化をはかる

【主体】 やる気のある店主、新たな事業者を呼び込む (C班)

【活用方法】 芝桜などを配置して人を呼ぶことの出来る公園

【主体】 退職者によるボランティア、手入れはシルバーセンター (D班)

地区全体

【活用方法】 おしゃれな店舗による特産品のブランド化

【主体】 吉野の工房、農業者、商売人 (A班)

【活用方法】 SNS (TwitterやFacebook) 活動によるNETで魅力を外部に情報発信

【主体】 中高生の生徒会等、まちの魅力をどんどん発信したい人 (B,E班)

【活用方法】 日用品の宅配スーパー

【主体】 宅配業者、コープ、郵政 (B班)

【活用方法】 癒しの並木道

【主体】 道路ができれば、住民で植栽活動 (B班)

【活用方法】 レンタカー、レンタサイクル、ガイドの実施
カーシェアリング制度

【主体】 民間 (C班)

商店街の活用

【活用方法】 空き店舗・空家を利用した特産品や土産物を置く商店や、地域の物を使った安価な食堂

【主体】 商工会、地域のボランティアや高校生 (A,D班)

【活用方法】 空家バンク、チャレンジショップ

【主体】 地域の各団体、ミニサークル、飲食店経営を考えている人、新たに商売をしたい人 (B班)

【活用方法】 シャッターに絵を描くなどして、商店街の外観を統一する

【主体】 大淀高校生、絵が好きの方 (C班)

【活用方法】 空き店舗を訪問介護の拠点として活用

【主体】 介護、福祉に係る地域の方々 (C班)

【活用方法】 観光シーズンに手軽に宿泊できる民泊の設置

【主体】 有志 (D班)

【活用方法】 月1回の青空市場や、フリーマーケット

【主体】 高校生、青年団、商工会、町民 (E班)

河川空間の活用

【活用方法】

鈴ヶ森公園内に眺望を活かしたくつろぎ広場、レストラン、カフェ

【主体】 民間経営、公募 (A,C班)

【活用方法】 駐車スペースの整備、野外活動、川遊び、川への進入路の整備

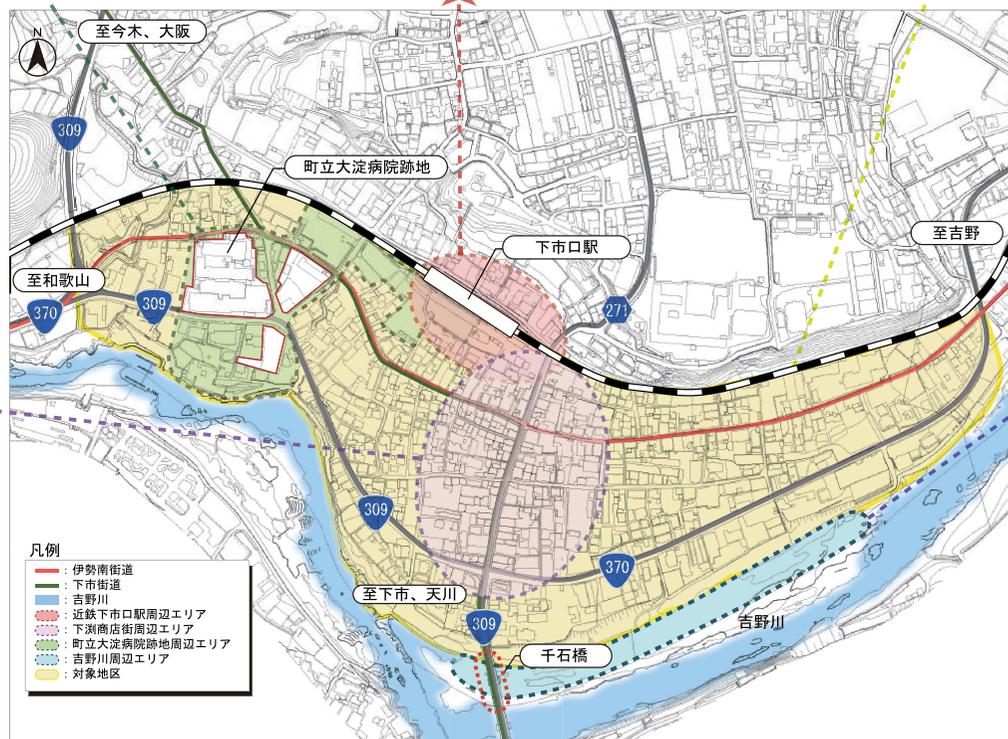
【主体】 地元区、行政、ボランティアで駐車場係・掃除係 (A班)

【活用方法】 調理器具や食材が揃っているバーベキュー広場

【主体】 高齢者、商店街、特産品を扱う業者 (C班)

【活用方法】 桜の植樹

【主体】 地元区、高齢者、子育て世代の家族、体力作りがしたい人 (F班)



各班の 発表内容

ワークショップの最後に各班ごとに話し合った内容について代表者に発表をしていただきました。

A班

- ・公共施設を病院跡地に集約する
- ・きれいなまちにする
- ・現下渚会館・中央公民館を活用して新しい体験教室を実施する

B班

- ・多世代が集い、相談できる場所
- ・工芸品の販売や展示をするチャレンジショップ
- ・既存・新規のイベントに利用しやすい場所

C班

- ・人材バンクやボランティアバンクなどをつくり、地区民全体でまちづくりを行う
- ・地域の人が集まるコミュニティ施設
- ・シャッター商店に統一のある絵を描く

D班

- ・大淀病院跡地に多様な教室が出来るような多目的ホールをつくる
- ・地元民が働き地元食材を用いた気軽に立ち寄れる安価な食堂
- ・駅前に人を呼べる公園

E班

- ・自分たちが行きたくなるような観光資源のあるまち
- ・まちの観光や歴史を聞かれたときに説明できるまち
- ・世界に向けて情報発信

F班

- ・チャレンジショップを商工会で支援する
- ・道の駅で生活用品を販売
- ・吉野川周辺を下渚連合会で管理

3回を通しての 成果報告

第1回から第3回までのそれぞれのワークショップを通して、達成されたこと・明らかになったことについて整理しました。

第1回

まち歩きを通して、大淀町の魅力と課題についてそれぞれが確認し、意見交換を行うことで、まちづくりの方向性が共有されました。



第2回

第1回で出された課題を再認識した上で、病院跡地など様々な場所に応じた、大淀町を活性化するための具体的なアイデアが提案されました。



第3回

住民や地区としてどのように関わることが出来るか、主体はどこになるのかなどが話し合われ、提案がより深められる結果となりました。

今後、まちづくりを進めるうえで、このワークショップの内容を貴重な意見として受け止め、検討し、反映していきます。

近畿大学脇田教授による

全体の総括



「住民はまちの専門家」という言葉があります。まちの専門家というと、大学の教員や建築士や行政マンを思い浮かべるかもしれませんが、そのまちに根を下ろして住み続けている住民は、いわゆる専門家よりも、そのまちのことをよりよく理解しています。そうしたまちの専門家である住民が、まちづくりの主役になるべきです。今回は、行政に依存するだけでなく、住民や地域でどのようなまちづくりができるかについて、具体的に考えていただきました。これまでの3回の議論を踏まえて、役場内部の会議やまちづくり委員会の議論を経て、このエリアの方向性が示されたまちづくり基本構想が策定されます。このワークショップが、住民とともにまちづくりに取り組むきっかけになることを願っています。